

### Ⅲ 平成30年4月入学 一般入試 第1次学生募集要項

#### 1 募集人員

専攻	募集人員	備考
数理物理科学専攻	38人	第2次募集時にも若干人募集を行います。
分子科学専攻	24人	
生物科学専攻	22人	
地球科学専攻	16人	
機械システム工学専攻	98人	欠員が生じた場合、第2次募集を行います。
電子情報システム工学専攻	90人	
応用化学専攻	50人	
生命医用工学専攻	57人	

(注) 第2次学生募集要項及び第2次学生募集の有無については、平成29年11月上旬頃「V出願書類の提出先(p.26)」に問い合わせてください。

#### 2 出願資格

次のいずれかに該当する者又は平成30年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(平成17年文部科学省告示第169号参照)
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (14) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

(注1) 2の「出願資格」(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与(申請受理)証明書を提出できる者

②学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

- (注2) 2の「出願資格」(3)に該当する「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」とは、外国において正規の学校教育における16年の課程を修了した者です。  
なお、大学卒業までに16年を要する国で修学した者が、飛び級している場合は、16年目の課程を修了していれば、22歳未満であっても上記に該当します。
- (注3) 2の「出願資格」(9)に該当する「学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めるもの」とは、他の研究科へ飛び入学により入学した学生が本研究科へ入学を希望する場合で、「5出願手続(5)出願に必要な書類等」に記載の「⑬他研究科での在学期間証明書」を提出できる者です。
- (注4) 2の「出願資格」(10)に該当する「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査（筆記試験、口頭試験）及び面接を行い、出願資格を認められた者です。  
ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は免除することがあります。
- (注5) 2の「出願資格」(12)に該当する「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」とは、大学卒業までに15年を要する国において、飛び級し、大学教育を修了した者です。
- (注6) 2の「出願資格」(11)～(14)に定める「大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの」については、各専攻ごとに別に定めます。  
なお、2の「出願資格」(11)は、機械システム工学専攻、電子情報システム工学専攻、応用化学専攻及び生命医用工学専攻においては「学部3年次生」を対象とします。
- (注7) 2の「出願資格」(11)～(14)における入学志願者は平成30年1月末頃に試験を実施します。平成29年11月上旬頃公表予定の「平成30年4月入学一般入試第2次学生募集要項」により出願してください。

### 3 出願資格審査

前記2の「出願資格」(10)における入学志願者は、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、事前に出願資格審査要項を「V出願書類の提出先（p.26）」に請求し、期限までに提出してください。

申請書類提出期間 **平成29年 6月19日（月）～ 6月20日（火）（必着）**

なお、審査結果は、**平成29年 7月27日（木）（予定）**に本人に通知します。

### 4 障がい等のある方への出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限 **平成29年 6月20日（火）**

相談方法 「出願に伴う事前相談書」を請求して医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて、「V出願書類の提出先（p.26）」に相談してください。

### 5 出願手続

入学志願者は、出願前のなるべく早い時期に志望指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談してください。

#### (1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

**平成29年 7月27日(木) ~ 8月 2日(水)**

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。ただし、土曜日・日曜日及び正午から午後1時までを除きます。

郵送する場合は、必ず「書留・郵便速達」とし、封筒の表に「平成30年4月入学大学院自然科学研究科博士前期課程一般入試出願書類在中」と朱書して、上記の出願期間内に必着するように郵送してください。

(3) 提出先

「V出願書類の提出先(p.26)」へ提出してください。

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類	摘 要
① 志 願 票 受 験 票 写 真 票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写 真	縦4.0cm×横3.0cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの2枚を「志願票」「写真票」の所定欄にのりで貼り付けてください。 貼る前に、写真の裏面に志望専攻名と氏名を記入してください。
③ 入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。  入学検定料の返還について 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合 ウ 国費外国人留学生の入学志願者は、原則として入学検定料の納入は不要ですが、平成30年3月31日限りで奨学金支給期間が終了する場合は、入学検定料の納入が必要です。 なお、奨学金受給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。
④ 学業成績証明書 及び 卒業(見込)証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、本学の卒業生及び卒業見込みの入学志願者は成績等の確認ができるので、提出不要です。
⑤ 履 歴 書	最終の学校(大学等)を外国で卒業した入学志願者のみ 本研究科所定の用紙により提出してください。

⑥ 住民票	日本在住の外国人の入学志願者のみ 在留資格が明記されたもの
⑦ 国費外国人 留学生証明書	国費外国人留学生の入学志願者のみ (在籍する学校が作成する奨学金支給期間が明記された証明書でも可)
⑧ 学士の学位授与 (申請受理) 証明書等	2の「出願資格」(2)に該当する(見込み)入学志願者のみ、次のものを提出してください。  〔学位を授与された入学志願者〕 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書  〔学位の授与を申請中の入学志願者〕 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書  〔学位の授与を申請予定の入学志願者〕 短期大学長又は高等専門学校長が作成し、厳封した次の証明書を提出してください。 ア 専攻科の修了見込証明書 イ 学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意)
⑨ 受験票等送付用 封筒	所定の封筒に、入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、362円分の切手を貼ってください。受験票を送付するのに使用します。
⑩ 連絡受信先シール	受信先住所等を記入してください。
⑪ 現在までの研究 内容と志望理由	生物科学専攻の入学志願者のみ 本研究科所定の用紙により提出してください。
⑫ 英語能力試験の 成績証明書	試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書(試験実施団体の発行したTOTAL SCOREの確認できる資料)の原本を提出してください。確認後、お返しします。  ・TOEIC®(Test of English for International Communications)(公開テスト) ・TOEIC®-L&R(Test of English for International Communication—Listening & Reading) ・TOEIC®-L&R-IP(Test of English for International Communication—Listening & Reading—Institutional Program) ・TOEIC®-IP(Test of English for International Communications—Institutional Program)  団体特別受験制度(カレッジTOEIC®もこれに含まれます。)で受験した場合は、写真票等による本人確認を実施しているものに限ります。  ・TOEFL®-PBT(Test of English as a Foreign Language—ペーパーテスト) ・TOEFL®-iBT(Test of English as a Foreign Language—インターネットテスト)  なお、上記の複数の英語能力試験を受験し、複数の成績証明書を提出した場合は、有利なものを採用します。
⑬ 他研究科での 在学期間証明書	2の「出願資格」(9)に該当する入学志願者のみ

## (6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

## 6 受験票の交付

受験票は、平成29年8月8日(火)頃に本人あて発送します。

なお、8月17日(木)までに到着しない場合には、「V出願書類の提出先(p.26)」に連絡してください。

## 7 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験及び口頭試験)及び書類審査の結果を総合して行います。

学力検査の詳細は、別表(p.18~p.20)を参照してください。

### (1) 試験日程

**平成29年 8月24日(木) 及び 8月25日(金)**

詳細は、別表(p.18~20)を参照してください。

### (2) 試験場

試験場は、受験票を送付する際に通知します。

## 8 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

専 攻	日 時	掲示場所
数理物理科学専攻 分子科学専攻 生物科学専攻 地球科学専攻	平成29年 9月 8日(金) 10時	理学部玄関付近 掲示板
機械システム工学専攻 電子情報システム工学専攻 応用化学専攻 生命医用工学専攻		工学部1号館前 掲示板

① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。

② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

(<https://www.gnst.okayama-u.ac.jp/admission/>)

③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

## 9 入学手続

### (1) 入学手続方法

詳細は、合格者に別途通知します。

### (2) 入学手続期間

**平成30年 3月13日(火) 及び 3月14日(水)**

## 10 その他

### (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)〔予定額〕

※在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

### (2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

### (3) 志願票等の記入方法について

数理物理学専攻、分子科学専攻、生物科学専攻及び地球科学専攻については、志願票等の志望教育研究分野及び志望指導教員欄は下記により記入してください。

専攻等		志望教育研究分野	志望指導教員
数理物理学専攻	数学系	第2志望まで記入可能	第3志望まで記入可能
	物理学系	第3志望まで記入可能	第3志望まで記入すること
分子科学専攻		第2志望まで記入可能	同 左
生物科学専攻		第1志望のみ記入すること	同 左
地球科学専攻		第2志望まで記入可能	同 左

### (4) 合格の教育研究分野について

分子科学専攻は第1,第2志望以外の教育研究分野に合格させることがあります。

### (5) 募集要項及び出願資格審査要項の請求について

募集要項を郵送で請求する場合は、請求する封筒に「平成30年4月入学大学院自然科学研究科博士前期課程一般入試募集要項請求」と朱書し、返信用封筒〔角型2号(縦33.1cm×横24.0cm)に380円分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの〕を同封し、「V出願書類の提出先(p.26)」あて申し込んでください。

なお、「出願資格」(10)により出願するため、募集要項に併せて出願資格審査要項を請求する者は、上記の請求封筒に「自然科学研究科出願資格審査要項請求」と朱書で併記してください。

別 表

学力検査の試験科目，日時及び場所等

【平成30年4月入学】【一般入試】

数理物理学専攻，分子科学専攻，生物科学専攻及び地球科学専攻

専攻等		平成29年 8月24日(木)		8月25日(金)
		専門科目等	□頭試問	□頭試問
数理物理学専攻	数学系	9:00~12:30 数 学	/	9:00~ □頭試問
	物理学系	9:00~12:30 物理学		
分子科学専攻		9:00~10:30 化学Ⅰ 11:00~12:30 化学Ⅱ 14:00~15:30 化学Ⅲ		
生物科学専攻		/	9:00~ □頭試問	/
地球科学専攻		/	9:00~ □頭試問	/

試験場：岡山大学理学部（岡山市北区津島中3-1-1）

(注1) □頭試問の試験室等は，試験日初日に指示します。

(注2) 英語筆記試験は実施せず，英語能力試験の成績を利用します。

詳細は「5 出願手続(5) 出願に必要な書類等 ⑫(p.15)」を参照してください。

【平成30年4月入学】 【一般入試】

機械システム工学専攻，電子情報システム工学専攻，応用化学専攻及び生命医用工学専攻

専攻等		平成29年 8月24日(木)		8月25日(金)	
		専門科目		専門科目	口頭試問
機械システム工学専攻	機械系	10:00~12:00 必須科目 数学 $\left( \begin{array}{l} \text{微分積分} \\ \text{線形代数} \\ \text{微分方程式} \\ \text{フーリエ・ラプラス変換} \end{array} \right)$	9:00~12:00 必須科目 熱力学 流体力学	13:00~ 口頭試問	
	システム系	13:30~15:00 必須科目 材料力学	なし	10:00~ 口頭試問	
電子情報システム工学専攻	電気電子系	10:00~12:00 必須科目 数学 $\left( \begin{array}{l} \text{微分積分} \\ \text{線形代数} \\ \text{微分方程式} \\ \text{フーリエ・ラプラス変換} \end{array} \right)$	なし	13:30~ 口頭試問	
	情報系	13:00~15:30 選択科目 $\left( \begin{array}{l} \text{応用数学} \\ \text{コンピュータアーキテクチャ} \\ \text{データ構造とアルゴリズム} \\ \text{オペレーティングシステム} \\ \text{人工知能} \\ \text{オートマトンと言語理論} \end{array} \right)$ 上記6科目中から4科目選択	なし	なし	
	通信ネットワーク系	16:00~ 口頭試問(他大学からの受験者のみが対象)	10:00~12:00 必須科目 数学 $\left( \begin{array}{l} \text{微分積分} \\ \text{線形代数} \\ \text{微分方程式} \\ \text{フーリエ・ラプラス変換} \end{array} \right)$	なし	13:00~ 口頭試問
		13:30~15:00 必須科目 論理回路，確率統計論			
<p>なお，成績優秀者を対象として，成績証明書に基づく書類審査により，筆記試験を免除する場合があります。筆記試験免除者への通知は，受験票送付の際に併せて行います。</p>					



専攻等		平成29年 8月24日(木)		8月25日(金)	
		専門科目		専門科目	口頭試問
応用化学専攻		10:00~11:30 必須科目 有機化学	なし	10:00~ 口頭試問	
		13:00~14:30 必須科目 無機化学			
		15:00~16:30 必須科目 物理化学			
生命医工学専攻	生物医工学コース	14:00~16:00 選択科目 (生化学) 無機化学 以上の2科目から1科目を選択	なし	13:00~ 口頭試問	
	医用システム学コース	14:00~16:00 選択科目 (確率・統計 微分・積分 微分方程式 フーリエ・ラプラス変換 線形代数 情報理論(エントロピー, 情報量)) 以上の6科目から3科目を選択			

試験場：岡山大学工学部（岡山市北区津島中3-1-1）

(注1) 定められた全部の科目を受験しなければなりません。一部の科目でも受験しなかった場合は、不合格とします。

(注2) 英語筆記試験は実施せず、英語能力試験の成績を利用します。

詳細は「5 出願手続(5) 出願に必要な書類等 ⑫(p.15)」を参照してください。